

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI】

(1) 直近(本年1月~)の動向(表①参照)

・直近(3/9週)の販売個数は、牛乳:前年同月比109.6%、成分調整牛乳:同87.4%、加工乳:同183.9%、乳飲料:同109.5%。

牛乳類では同108.3%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳:189.3円、成分調整牛乳:173.3円、加工乳:182.7円、乳飲料:150.4円。

(2) 前週(3/2週)に引き続き休校や在宅勤務等の影響と考えられる家庭内需要によって堅調に推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

《補足事項》

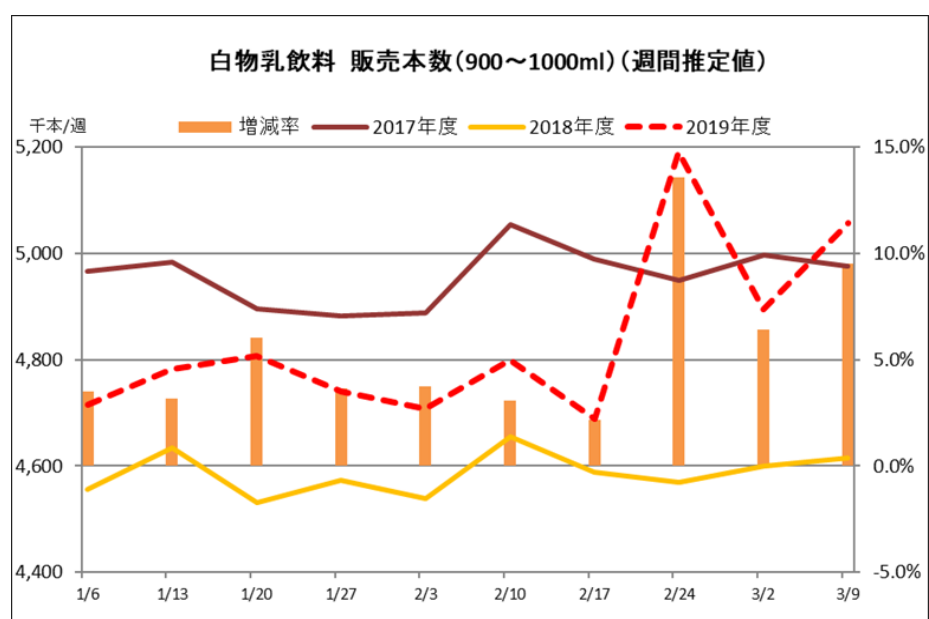
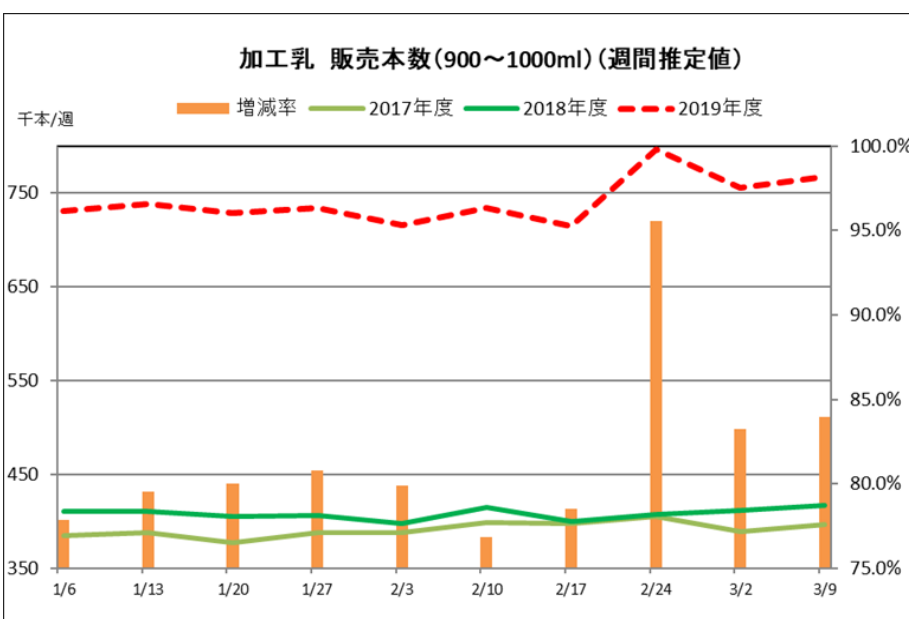
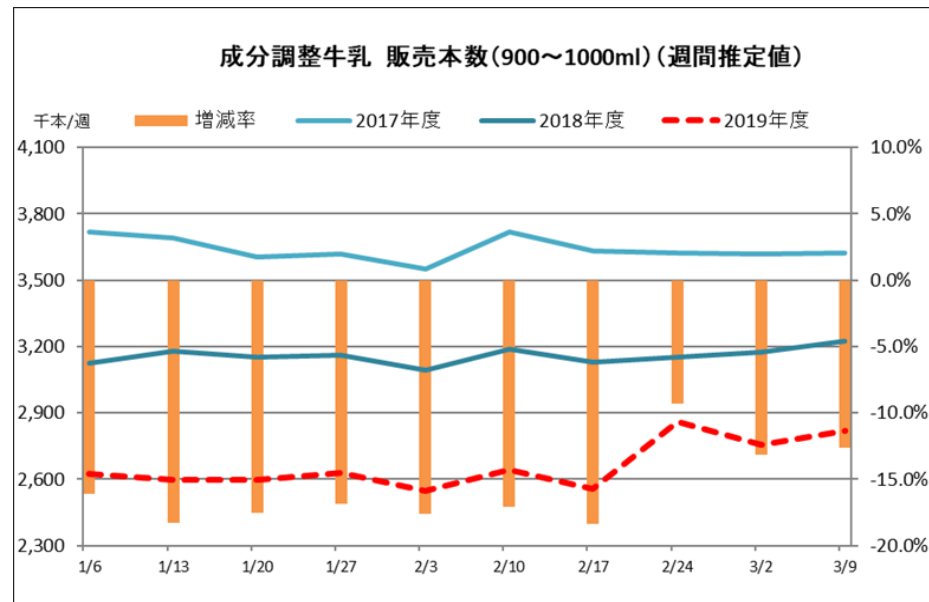
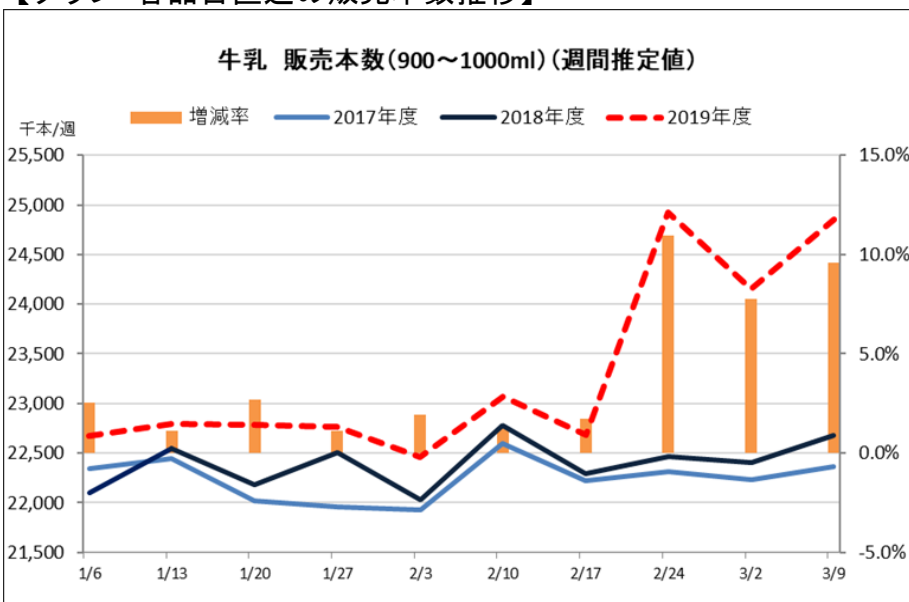
・下記表①については、家庭用製品の実績であり、業務用牛乳については、新型コロナウイルスの影響による外出自粛やインバウンド減少に伴う外食や観光業等の需要の落ち込みの影響を受け、大きく減少していると考えられる。

・乳製品についても同様に、業務用製品については、直近で3割程度減少していると推察されており、引き続き状況を注視するとともに、需要拡大に取り組んでゆく必要がある。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-
トータル	販売個数	30,740	30,915	30,916	30,863	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491
	販売個数前年比	101.8	100.5	102.1	100.7	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3
	販売単価	181.9	181.4	181.3	181.5	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9
牛乳	販売個数	22,670	22,800	22,782	22,760	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851
	販売個数前年比	102.6	101.1	102.7	101.1	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6
	販売単価	189.6	189.0	188.9	189.1	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3
成分調整牛乳	販売個数	2,623	2,595	2,599	2,629	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817
	販売個数前年比	83.9	81.7	82.5	83.1	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4
	販売単価	172.8	172.8	172.7	172.6	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3
加工乳	販売個数	731	738	729	734	716	734	714	796	755	767
	販売個数前年比	177.9	179.7	180.2	181.0	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9
	販売単価	183.2	182.5	182.3	181.4	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7
乳飲料	販売個数	4,716	4,782	4,806	4,740	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056
	販売個数前年比	103.5	103.2	106.0	103.6	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5
	販売単価	149.6	149.8	149.6	150.0	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売動向(推定):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(3/9週)については、各品目ともに前週(3/2週)よりもさらに前年対比増加となっている。要因としては、機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、牛乳類と同様の理由が考えられる。

《補足事項》

下記表①については、家庭用製品の実績であり、ヨーグルト類も牛乳類やその他乳製品と同様に、業務用については新型コロナウイルスの影響による外出自粛やインバウンド減少に伴う外食や観光業等の需要の落ち込みの影響を受け大きく減少しているものと考えられることから、引き続き状況を注視するとともに、需要拡大に取り組んでゆく必要がある。

【表① 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-
ドリンクタイプ	↘	↓	↓	↘	↘	→	↗	↑	↗	↑
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↗	↘	→
大容量タイプ	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↑	→	↗

-  : 前年比90%未満
-  : 前年比90%以上100%未満
-  : 前年比100%以上105%未満
-  : 前年比105%以上110%未満
-  : 前年比110%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

(本データの収集・分析は、2019年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。)